

天橋立鋼索鉄道 天橋立リフト
安全報告書
< 2008年 >



丹後海陸交通株式会社

平成20年 7月31日

丹後海陸交通株式会社 安全報告書(2008)
(ケーブルカ - ・リフト事業)

平素は天橋立ケーブルカ - ・天橋立リフトをご利用いただき誠にありがとうございます。
従前より弊社では、経営トップをはじめ全従業員が輸送の安全の重要性を深く認識し、安全最優先の取組みを行ってまいりました。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解いただくために公表するものです。お客様からの声を今後の安全輸送に役立てたく、是非、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

丹後海陸交通株式会社
取締役社長 松下 英秋

1. 基本的な方針

(1) 「一致協力による安全確保」

全社一致協力して輸送の安全確保に努める。

(2) 「規程の遵守」

安全に関する法令および規程をよく理解・遵守し厳正、忠実に職務を遂行する。

(3) 「状況の理解」

常に輸送の安全に関する状況を理解するように努める。

(4) 「確認の励行」

職務の遂行にあたり推測によらず確認の励行に努め、疑義あるときは最も安全と思われる取扱いをする。

(5) 「人命優先」

事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。

(6) 「情報の透明性」

情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。

(7) 「改善」

常に問題意識を持ち、輸送の安全にかかる業務上の改善を行わなければならない。

(8) 「作業の确实」

作業にあたっては、関係者との連絡を緊密にして打ち合わせを正確に行い、お互いに協力しなければならない。

2. 2008年度 ケーブルカ ・ リフト安全目標

定量的な目標

- | | |
|-------------------------|-------------------------------------|
| ケーブルカ - 運転事故 (衝突・脱線・火災) | ケーブルカ - 運転事故を発生させない。
(前年度発生 0 件) |
| リフト運転事故 (衝突・脱索・火災) | リフト運転事故を発生させない。
(前年度発生 0 件) |
| 人身障害事故 | 人身障害事故を発生させない。
(前年度発生 0 件) |

定性的な目標

- ヒヤリ・ハット報告制度により情報を共有し、日々の業務に反映させます。
内部監査制度により安全な運行体制を確立します。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 運転事故

2007年度、ケーブルカ ・ リフトともに運転事故は0件でした。引続き、従業員一同、連携を保って安全運行に心がけます。

(2) 災害(地震や暴風雨、豪雪など)

2007年度、ケーブルカ ・ リフトともに災害は0件でした。安全を第一にした運行により災害による事故を未然に防ぐ他、線路等の点検整備により災害に対する備えをします。

(3) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

2007年度、降雨・降雪や強風による運休以外は発生しておりません。今後も、輸送障害を起こさぬよう、安全運行ならびに適正な整備等の点検を行います。

(4) インシデント(事故の兆候)

2007年度、国土交通省へのインシデント報告はありませんでした。ヒヤリ・ハット報告制度を日々の業務に反映させることで、インシデントを未然に防ぎます。

4. 2008年度ケーブルカ ・ リフト輸送の安全確保のための取組み

(1) 重点安全施策

当社では、重点安全施策として全職員に対し、基本動作の励行を徹底させ、計画的に基本動作のチェックを行います。

(2) 人材教育

当社では、輸送の安全確保のため索道技術研修会等へ参加する他、乗務員指導管理者を中心に人材教育を行っています。

(3) 緊急時対応訓練

毎年、運転事故や災害を想定し、計画的に訓練を実施しています。

(4) 安全のための投資と支出

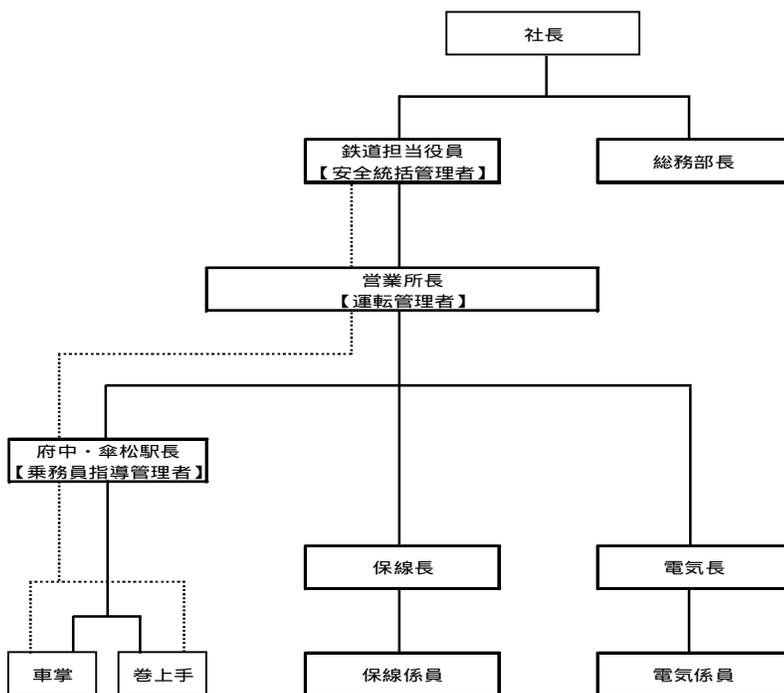
安全の維持・向上のため、点検機器の購入や設備機器等の計画的な交換をします。

2007年度は、ケーブルカ - の電気設備キュー - ビクル真空遮断機の交換、巻上設備制御盤基盤のオ - バ - ホ - ル、軌道導滑車複線部用斜プ - リ - の交換品購入を行いました。

リフトにおいては、リフト用風速計の取替、支柱塗装を行いました。

5. 安全体制

ケーブルカ - の安全管理体制



6. 地元の皆さまとの連携とお願い

(1) 「お客様の声をかたちにしています」

より安全で信頼される鉄道をつくるため、2007年度に「お客様ご意見箱」を各駅に設置し、日々お寄せいただくご意見を業務に反映させます。

(2) 「高齢者のお客さま、リフトの乗り降りにご注意ください。」

高齢者の旅行が増加傾向にあります。リフトの乗り降り時、十分足元を注意してください。また、怖いと思われたら無理せず、ケ-ブルカ-をご利用ください。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

ご連絡先

丹後海陸交通株式会社 営業部 営業企画課

京都府与謝郡与謝野町字上山田 641 番地 1

TEL 0772 42 0323

FAX 0772 42 0349

E-mail webmaster@tankai.jp